

週刊 SSH（3月21日）

SSH校内成果発表会（1学年）

1年生が一年間の探究活動の成果を発表しました。一般クラス（知の探究Ⅰ）は11月の城ヶ島地学巡検でのフィールドワークの際に立てた問いに対して、文献調査や実験で検証した結果をパワーポイントにまとめ、SSHクラスはSSI各コースから代表1名が今年度の成果を報告しました。

質疑応答ではSSHクラスの生徒から検証方法や考察等について、鋭い質問があり、一般クラスの生徒にとっても探究活動に必要な知見が広がる経験となりました。以下は生徒の感想です。

○「セキセイインコの翼モデルの空気中の落下運動」（SSI生物）

四字熟語に「有名無実」という言葉があります。一般には実質が伴わないことを悪く言う言葉ですが、今回の発表を含め今までの様々な発表で少し認識が変わりました。無論、研究に実力は必要です。しかし、せっかく素晴らしい研究をしてもそれが相手方に理解してもらい、伝えなければ馬耳東風です。つまり、世間にうまく浸透させる、「名」を売る行為が大切だということです。素晴らしい研究にはそれに見合う「名」を用意すること、それも研究の一環であり、研究の世界には欠かせないのです。そのようなことを実に痛感させられたものであります。



できました。個人的には、クラブ活動などで普段関わっている友人がSSHではとても興味深い研究を行っていたところが印象的でした。私たちの来年度の探究に向けてのモチベーションを高めてくれるようないい機会になったと思います。

○参加生徒の感想

自分の研究をわかりやすい言葉や見やすいスライドで説明してくれて専門知識がなくても理解することができました。質問の内容もありがちなものではなく、研究について踏み込んだ内容になっていて質疑応答の時間も楽しむことが

